

100歳おめでとうございます

9月に満100歳を迎えた人に、市長からのお祝いメッセージと祝金が贈られました。



田中 やをさん
大正3年9月1日生

吉田 シヅエさん
大正3年9月5日生

※ご本人の希望により写真は
ありません。

株式会社フレッシュ工房 御代志に青果物の加工施設を新設

9月1日、株式会社フレッシュ工房の青果物加工場の新設に伴う立地協定調印式が行なわれました。

御代志に新設される同社の工場では、12月から量販店や外食産業向けにカット野菜やカットフルーツの製造が行なわれ、九州一円に販売される予定です。

契約栽培による農家との連携強化にも取り組むほか、市との協定には地元からの新規雇用が盛り込まれるなど、今後の地域の活性化も期待されます。



調印式で握手する市長と藤本泰弘専務（右）

中学生と市長が意見交換 合志市子ども会議

8月25日、地域のまちづくりについて市内の中学生が考え、その将来像を市に提案する子ども会議を開催しました。

市内3校の代表生徒18人が参加し、ワークショップ形式で活発に意見を出し合いました。「地域に商店を増やしてほしい」「ヴィーブルくんをもっとかわいくしてほしい」などさまざまな提案が飛び出し、市長らと一緒に市の未来を考えました。



熱い議論が交わされました

黒石区で保存活動 地域で守るムクノキ

8月24日、黒石区で区のシンボルとして長い間親しまれているムクノキ周辺の清掃活動が行なわれました。この木は高さ約30m、幹回り約6.5mで、樹齢は推定300年ともいわれています。先端などが枯れ始めたため、今回、国土緑化推進機構の助成金を活用し、区で保存に取り組み始めました。

この日は小雨のなか、区の役員や民生委員など約30人が清掃に汗を流しました。

今後もこの木が長生きできるように、清掃や剪定、樹木医による消毒など、定期的に行なっていきます。



ムクノキは、国道387号線沿いの菊南斎場駐車場脇に立っています。

安心して水を使ってほしい 御代志第2配水池が完成

水道水の安定した配水を確保するため、御代志配水池の隣に御代志第2配水池が完成しました。

配水池は水源地でくみあげた地下水をため、各家庭に配水しています。季節や時間などで変動する配水量の調節や、非常時に貯水量を利用して断水の影響を少なくするという役割もあります。御代志第2配水池は最大で1日に4,000m³の配水ができます。10月から稼働し、安全な水を安定してお届けします。



御代志第2配水池は、市で初めてのステンレス製配水池です

学びの秋 自分磨きで美しく

9月10日、生涯学習課が主催する女性セミナーの企画として、女性のためのスキンケア・メイクアップ講座が開催されました。

登録受講生26人が参加し、若々しく見えるメイク術やメイクが人に与える印象、豊かな表情の作り方など、生き生きとした自分になれるコツを学びました。参加者は「メイクで顔に立体感が出た」「まるで別人のよう」と楽しみながら受講していました。



日々を楽しむことも、素敵な自分になる大事な要素

交通安全は母の願い 交通安全標柱が寄贈されました

9月9日、今年3月に解散した市地域婦人会を母体とする交通安全母の会から、交通安全の標語がペイントされた標柱が市に寄贈されました。

これまで、交通安全母の会は早朝の交通指導や交通安全用品の配付、保育園での交通安全教室などの活動を行なってきました。今後は、市PTA連絡協議会を母体とする新しい交通安全母の会に引き継がれ、活動を続けていきます。



標柱は合志庁舎の正面駐車場入り口に設置されています

ママさんバレーボール 九州大会・全国冬季大会に出場

ママさんバレーボールチームの西合志クラブが、全国大会と冬季大会の県予選を突破し、沖縄県で行なわれる九州ブロック大会と群馬県で行なわれる全国冬季大会の切符を手に入れました。

メンバーは、忙しい仕事や家事の合間をぬって日頃から練習を積み重ねています。監督の飯塚さんは「2つの大会に向けて、持ち前の元気を生かし、チーム一丸となって頑張ります」と意気込みを語りました。



西合志クラブの皆さん